安全データシート

リブタイト　夏用 主剤（A 剤）

JIS Z 7253 : 2019 に準拠
作成日: 2004/04/01 ， 発行日: 2025/06/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ： リブタイト　夏用 主剤（A 剤）

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 ： 工業用途
使用上の制限 ： 製品は本来の目的以外に使用しない。

会社情報

会社名：積水化学工業株式会社
担当部署：環境・ライフラインカンパニー　給排水インフラ事業部
住所：〒105-8566　東京都港区虎ノ門 2-10-4（オークラプレステージタワー）
電話番号： 03-6748-6492 ， FAX 番号： 03-6748-6564

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
	皮膚感作性	区分 1
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系, 腎臓)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (中枢神経系)
環境有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分 2
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分 2

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)

注意喚起語 (GHS JP) ： 警告
危険有害性 (GHS JP) ： 皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
臓器の障害のおそれ (中枢神経系、腎臓)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系)
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き (GHS JP)

安全対策 ： 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 : 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。

保管 : 施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。
通常の条件下では特に無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS 番号
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	30 – 40	25068-38-6
ベンジルアルコール	1 – 10	100-51-6
酸化チタン	< 1	13463-67-7

注記:これらの値は製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合 : 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
通常の条件下では特に無し。

症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 刺激性。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

症状/損傷 眼に入った場合 : 眼刺激。

症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 乾燥粉末消火剤、泡消火剤

使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。

火災危険性 : 火災および爆発の危険性。

爆発の危険 : 引火性および爆発性の蒸気－空気混合物を形成することがある。

火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

応急処置 : 漏出エリアを換気する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 漏出物を回収すること。
浄化方法	: 製品は機械的に回収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 皮膚、眼との接触を避ける。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: 酸。 塩基。 酸化性物質。 還元性物質。
衛生対策	: 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。
処理時の追加危険有害性	: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。 通常の条件下では特に無し。

保管

安全な保管条件	: 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	: データなし
技術的対策	: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

安全データシート

リブタイト　夏用 主剤（A 剤）

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	: 白色
臭い	: 微臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 1.7 g/cm^3
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第 7 項参照）。
混触危険物質	: 酸。塩基。酸化性物質。還元性物質。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

ビスフェノールA型エポキシ樹脂	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: female, Guideline: OECD Guideline 420 (Acute Oral Toxicity - Fixed Dose Method)
LD50 経口	11400 mg/kg

ベンジルアルコール	
LD50 経口	1200 mg/kg
LD50 経皮	2000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	4.178 mg/l/4h

酸化チタン	
LD50 経口	5000 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性 : 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 強い眼刺激
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害のおそれ (中枢神経系, 腎臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系)
誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に毒性、長期継続的影響によって水生生物に毒性。
水生環境有害性　短期（急性） : 水生生物に毒性
水生環境有害性　長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に毒性

ビスフェノールA型エポキシ樹脂	
EC50 - 甲殻類 [1]	1.7 mg/l

ベンジルアルコール	
LC50 - 魚 [1]	10 mg/l
NOEC 甲殻類 慢性	51 mg/l

残留性・分解性

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 3077
正式品名 (UN RTDG)	: 環境有害物質（固体）
容器等級(UN RTDG)	: III
輸送危険物分類（UN RTDG）	: 9
危険物ラベル (UN RTDG)	: 9

クラス (UN RTDG)	: 9
少量危険物 (UN RTDG)	: 5 kg
微量危険物 (UN RTDG)	: E1
包装指令 (UN RTDG)	: P002、IBC08、LP02
特別包装規定 (UN RTDG)	: PP12、B3
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件 (UN RTDG)	: T1、BK2、BK3
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件 (UN RTDG)	: TP33

国内規制

緊急時応急措置指針番号	: 171
その他の情報	: 補足情報なし

安全データシート

リブタイト　夏用 主剤（A 剤）

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 優先評価化学物質（法第２条第５項）
４，４’－イソプロピリデンジフェノールと１－クロロ－２，３－エポキシプロパンの重縮合物

労働安全衛生法 : 変異原性が認められた既存化学物質（法第５７条の５、労働基準局長通達）
ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂中間体
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第２号～第３号、安衛則第３０条別表第２）
４，４’－イソプロピリデンジフェノールと１－クロロ－２，３－エポキシプロパンの重縮合物（液状のものに限る。）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２第１項、施行令第１８条の２第２号～第３号、安衛則第３４条の２別表第２）
４，４’－イソプロピリデンジフェノールと１－クロロ－２，３－エポキシプロパンの重縮合物（液状のものに限る。）
皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第５９４条の２第１項、令和４年５月３１日基発０５３１第９号、令和５年７月４日基発０７０４第１号・４該当物質の一覧）
４，４’－イソプロピリデンジフェノールと１－クロロ－２，３－エポキシプロパンの重縮合物（液状のものに限る。）
ベンジルアルコール
皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質（安衛則第５９４条の２第１項、令和４年５月３１日基発０５３１第９号、令和５年７月４日基発０７０４第１号・４該当物質の一覧）
ベンジルアルコール

毒物及び劇物取締法 : 毒劇法に該当しない。

消防法 : 指定可燃物　可燃性固体類　「火気厳禁」

16. その他の情報

参考文献 : JIS Z 7252 : 2019。
JIS Z 7253 : 2019。

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。